

事前評価個表

| | |
|------|----|
| 整理番号 | 52 |
|------|----|

| | | | |
|---------|-------------------------------|--------|-----------------|
| 地域（地区）名 | <small>ながらがわ</small> 長良川地域 | 事業名 | 森林環境保全整備事業 |
| 計画策定主体 | 岐阜県 | 対象市町村 | 岐阜市ほか5市 |
| 事業実施期間 | H23 ~ H27（5年間） | 事業実施主体 | 市町村、森林組合、森林所有者等 |

| | |
|-----------|--|
| 事業の概要・目的 | <p>長良川森林計画区(以下「計画区」という。)は、岐阜県のほぼ中央に位置し、岐阜市、関市、美濃市、羽島市、羽島郡岐南町・笠松町、各務原市、山県市、郡上市の7市2町から構成されている。</p> <p>森林面積は、計画区の総土地面積220.5千haの75%に当たる166.3千haで、全県下森林面積の19%を占めている。このうち、国有林が4.7千haで3%、民有林が161.6千haで97%を占めている。計画区の人造林は、スギが47%、ヒノキが50%となっており、県全体(スギ：35%、ヒノキ：57%)と比較するとスギの割合が高いことがわかる。</p> <p>また、計画区の天然林の割合(48%)が県全体(52%)に比べて低いことも特徴といえる。</p> <p>現在の森林・林業を取り巻く情勢は、木材自給率及び材価の低迷、林業従事者の高齢化等、厳しい状況にあり、森林の整備状況は低調で、森林が本来持つ国土保全、水源かん養等の公益的機能を十分に発揮できていない。また、人造林は、9歳級をピークに5～12歳級が大部分を占めており、適期の保育が求められている。</p> <p>このような状況を踏まえ、本計画区では森林の整備にあたって、長良川地域森林計画で定める方針を基本として、多面的機能を発揮する森林整備を推進することとする。</p> |
| 事業内容・事業費 | <p>森林整備：14,438ha 人工造林、樹下植栽等、下刈、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：4,529,000千円</p> |
| 費用対効果分析結果 | <p>B/C = 6.36 (総便益(B) = 37,223,193千円、総費用(C) = 5,852,329千円)</p> |
| 評価結果 | <p>必要性：対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施業を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がりが、また森林の持つ公益的機能がより高度に発揮されることになり、有効性は高い。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p> |

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 長良川

岐阜県
 (単位: 千円)

| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-----------|--|------------|-----|
| 水源かん養便益 | 洪水防止便益 | 10,554,320 | |
| | 流域貯水便益 | 3,771,311 | |
| | 水質浄化便益 | 6,438,363 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 6,729,353 | |
| | 土砂崩壊防止便益 | 427,312 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 4,603,760 | |
| 木材生産便益 | 木材生産確保・増進便益 | 4,698,774 | |
| 総 便 益 (B) | | 37,223,193 | |
| 総 費 用 (C) | | 5,852,329 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{37,223,193}{5,852,329} = 6.36$ | | |

森林環境保全整備事業 長良川地域(岐阜県) 概要図

